

発表における注意事項

■ 口頭発表

(1) 割当時間

一般講演に関しては、全国大会・ISAM とともに1課題あたり15分間が割り当てられています(交代時間を含む)。発表時間は12分間とし、残りの3分間を質疑応答と交代時間とします。10分経過時に1鈴、12分経過時に2鈴、15分経過時に3鈴を鳴らします。

OSの講演時間と呼び鈴のタイミングに関しては、オーガナイザーにご確認ください。

(2) 発表方法

プレゼンはパワーポイントやPDFなどのスライドを液晶プロジェクタで映写して実施します。パソコンの付け替え、操作等は発表者が行なってください。また会場にはレーザーポインターを用意しています。

発表者ご自身で持参したパソコンでのご発表をお願いします。なお会場の液晶プロジェクタとの接続は、HDMIのみ対応しています。他の接続端子には対応しておりませんので、必要に応じて変換端子を各自ご用意ください。講演するセッションまでに、発表資料が正しく投影されるかチェックを行って下さい。セッション直前は混雑が予想されますので、余裕を持って会場へお越し下さい。

■ ポスター発表

(1) ポスターの推奨サイズと掲示方法

ポスターパネルのサイズは、高さ1800mm、幅1200mmとなっています。したがって、ポスターのサイズはA0用紙(1189×841mm)を推奨します。発表者はパネル上部に貼られた番号をご確認の上、該当するパネルにポスターを掲示してください。番号は大会ホームページのプログラムおよび講演要旨集で確認できます。画鋲はポスター会場にご用意しております。

ポスターの貼り付けは3月14日(木)13:00から行うことができます。ポスターの撤去は、3月15日(金)の20:30までをお願いします。この時刻以降に残っているポスターは事務局で処分しますのでご了承ください。また、ポスター賞に応募した発表者は、審査を効率的に行うため、早めのポスター掲示にご協力をお願いいたします。

(2) ポスターセッション

ポスターセッションは3月15日16:30~17:30(セッション1)と17:30~18:30(セッション2)の2回に渡って行われます。ポスター番号の奇数は“セッション1”、偶数は“セッション2”がコアタイムとなります。コアタイムの際には、発表者はポスターの前に立って発表や質疑に対応してください。ポスター賞の審査に申し込んだ発表者について、コアタイムにポスター前にいない場合は、審査対象から外れる場合がありますのでご注意ください。

以上